

# 第43回「議員と語りかい」報告書

産業建設常任委員会 (No.1)

開催日	令和 5年 10月 30日 10時 00分 ~ 11時 30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟4階 第3・4委員会室		
団体名	霧島商工会議所 建設建材部会	参加人員	10人 (男 10人 : 女 0人)
出席議員	木野田 誠、鈴木 てるみ、植山 太介、久木田 大和、前田 幸一、 塩井川 公子、徳田 修和、下深迫 孝二		
役割分担	班 長 (木野田 誠) 副班長 (鈴木 てるみ) 記録係 (前田 幸一)		
テーマ及び具 体的な内容	・公共事業における設計業務及び工事施工業務等の在り方		

意見 交換 での 主な 話題 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆コロナ禍が明け通常の日々を取り戻してきたが、我々建設業界に限らずあらゆる業界が人材不足に陥っている。</p> <p>工事を受注するが、工事現場において電柱があり移設しなければならないが、申請をしてから移設まで2~3か月の期間を要し、工期ぎりぎりの場合があるため、行政側で申請をして欲しい。</p> <p>また、工事においては仮設事務所を設置する義務があるが、設置場所が農地の場合農業委員会へ5条申請をするが、これも約1か月の期間を要するため、届け出のみで出来ないか。</p> <p>◆設計業者が設計した設計書と現場が一致しないため、受注業者は見積額以外の手出しが生じる場合がある。設計業者は現場を確認しているのか疑問である。</p> <p>◇我々議員も勉強不足である。また、行政職員も他市を研修し効率の良い工事発注をしなければならないと感じる。</p> <p>◇電柱移設の件は、設計段階で何本あるか確認できるので、行政と協議する必要がある。農地借用の件は、法の問題があると思う。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な話題等

- ◆電柱移設に4～5か月かかり、工期いっぱいであった。電力会社も人手不足と言われた。また、5条申請は県の指導もあり行政も単独ではできないと感じる。
- ◆設計書と現場の相違がある場合は、設計業者と行政・受注業者と3者で立ち合いをして欲しい。
- ◆申請関係がスムーズに実施できれば、工事を行う側も余裕があり良い工事ができると思う。
- ◆市街地の発展は著しいものがある。今後益々発展をしていくための議論はしているのか。
- ◇霧島市の課題は、市街地における水害被害である。まずは、この対策のため行政と議論を交わしている。今後、我々も勉強をしていかなければならないと感じる。
- ◇長期的な街づくりプランを協議する場を設定しなければならない。
- ◇我々議員も個々の思いは持っているが、委員会として取りまとめ行政と協議したい。
- ◇職員も若い人が多くなり、現地も良く理解できていないのではないかと。研修を重ねて、勉強をしてもらいたい。
- ◇行政へ質問をすれば応えてくれるが、マスタープランについて協議する場がない。
- ◇産業建設常任委員会では、陳情案件や工事現場の確認を行い、協議を行っている。
- ◆最近は一戸建て住宅建築が減っている。物価高騰や原材料不足が原因と思う。霧島市は、中山間地域への補助金制度はあるが、市街地での助成が見られないことも原因ではないか。都城市は手厚い補助のため、市街地発展が著しい。
- ◇中山間地域やがけ地等の移転には助成制度があるが、他市を研修すべきである。
- ◇助成制度が無くても、移住したい町づくりをしないといけない。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な話題等

◆災害復旧工事の予算はいっぱいいっぱいで見ているため、安全管理上の観点からも、増額予算を出して欲しい。また、市街地内の幹線道路の二車線化を検討すべきである。

◇まちづくりは、最初の段階で道路拡張を協議しなければならない。

◇災害査定は、当初ではできないため補正で計上される。

◆入札が終わり現場工事が始まるが、設計業者はあまり現場へ来ない。設計と現場が合致しないことがある。

◆設計業者は、少し横着なところが見受けられ、建設業者を見下している感がある。我々建設業界は、評価方式でランクがあるが、設計業者も評価方式を取り入れるべきではないか。

◇行政も設計書が完了したら、正しいかチェック体制を取る必要がある。

◆現場工事においては、下検査、本検査があるが、設計業者のチェック体制を取って欲しい。

◆入札案件が提示されてから期間が短いため、現場確認等ゆっくりできないため、急ぎ入札に応じている。

◇入札期間を十分取るよう、行政へ申し入れてみる。

◆我々建設業界は、点数制度があるため行政へ不満を言えないところがある。

◇設計業者の評価制度等あるのか、調べてみる。公正公平な対応が必要である。

◆霧島市内には、設計業者が少ない。業者育成をすべきである。

◆新聞に掲載されていたが、霧島市民の所得額が2番から5番に落ちている。また、子供たちの学習能力も伸び悩んでいる。行政として、もっと努力をしていただくようお願いしたい。

◇産業建設常任委員会の在り方、現状だけではなく、霧島市の将来を見据えたビジョンを語り合っていけば良いのではと感じた。